

LikePot久留米中央 児童発達支援 事業所における自己評価表

※無回答・複数回答あり。

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|---|--|----|-----|---|--|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 5 | 1 | パーティションを使用。 | 子どもたちの様子を見ながら今後も続けていく。 |
| | ② | 職員の配置数は適切である | 6 | | | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 5 | 1 | | |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 6 | | | |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 1 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・PDCAという言葉あまり使わない。 ・PDCAとは？ ・PDCAというワードも認知されていない気がする。 ・PDCAサイクル使用場面は現状見ない。 | まずはスタッフ全員がPDCAサイクルについてを知っていく。 |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 4 | 2 | 回収中のため、分からない。 | 前年度分がHPに上がっているため、掲載後にスタッフへ周知を行う。 |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 3 | 3 | 回収中のため、分からない。 | 前年度分がHPに上がっているため、掲載後にスタッフへ周知を行う。 |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 2 | 3 | 分からない。 | 現在は、外部評価は行っていないため検討していく。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 5 | 1 | 新人研修は受けていない。 | 入職のタイミングで、しっかり実施できるようにしていく。 |
| 適切な 支援の 提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 4 | 2 | 子どもと保護者のニーズをタイムリーに把握する機会自体ないのではないかと思います。 | 送迎時または個別面談を行うなど、家族環境に応じて適切な方法で取り入れていく。 |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 1 | 5 | 事業所内で使用している場面は見えない。 | アセスメントツールは、今後より分かりやすいものに整備していきたい。 |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 1 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後、支援計画を立てていくため、意識していく。 ・計画したことがないため、不明。 ・関与していないので、分からない。 | スタッフ間で、ガイドラインの確認を行い、アセスメント・個別支援計画書作成の際に、意識して取り入れていきたい。 |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 4 | 2 | | スタッフそれぞれが目標や支援方法を共通理解し、活動の提供が出来るよう機会を作っていく。 |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 5 | 1 | 個々で提案して全体に共有する場面もあれば、そうでない時もある。 | 立案後にスタッフ間で共有し確認を行うようにしていく。 |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 5 | 1 | | |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している | 3 | 2 | 関与していないので、分からない。 | それぞれのお子さんの支援目標を全体で確認し、原案作成後の支援会議で共有し意見を取り入れていく。 |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 5 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・終礼の際、次の日のことを話している。 ・終礼時に行う。 ・終礼で当日の振り返りを実施している。事前の情報共有は都度個別で実施している。 ・打ち合わせはしないが、各自で実行表の確認をしている。 | スタッフミーティングの際に、全体で確認する時間を設けていく。 |
| ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 6 | | | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--------------|---|---|----|-----|--|--|
| | ⑱ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | 1 | | 終礼で支援目標や実施内容についても、意見を出し合いながら取り組んでいく。 |
| | ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 4 | 2 | 関与していないので、どういった見直しをしているか不明。 | ご利用の際に近況の確認や発達成長の様子についてお話をさせていただいているため、内容をスタッフ間で共有していく。 |
| 関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | | どういった人選で参加者が決定しているか不明。 | 基本的には、児発管や管理者が参加しているが、お子さんの状況に応じて検討する。また会議の前には、お子さんの変化や事業所で感じている課題などを整理して参加する。 |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 2 | 3 | 必要時、情報共有をしている。 | お子さんによって関係機関が異なるため、必要に応じて連携を行っている。 |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 1 | 2 | | |
| | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 1 | 2 | | |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 5 | 1 | 詳細に触れたことがないので、分からない。 | お子さんの状況によって、保育園などで開催される会議に積極的に参加するようにしている。 |
| | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 5 | 1 | | お子さんの状況によって、保育園などで開催される会議に積極的に参加するようにしている。 |
| | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 3 | 2 | 受けていると思うが、どこにその記録があるのか分からない。 | スタッフ全員が把握できるように、記録の共有を行っていく。 |
| | ㉘ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | 5 | | 現在は積極的に行っていないため、地域の行事などにも参加を検討していく。 |
| | ㉙ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 1 | 4 | | 開催される際には、管理者が参加している。参加後の情報共有を行っていく。 |
| | ㉚ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | | 送迎の時の立ち話程度で、もう少し密にやりとりをする必要があると個人的には感じる。 | 悩みがあるご家庭や話を聞きたいご家庭については面談を取り入れていく。 |
| | ㉛ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 3 | 2 | OTが取り組んでいる。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------------------------------------|---|----|-----|--|--|
| 保護者への説明責任等 | ③② 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 5 | | 経験したことはないが、やっていると思う。 | |
| | ③③ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 5 | | | |
| | ③④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 5 | | | |
| | ③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 3 | 3 | | 現在は、法人全体で実施しているが必要に応じて事業所単で開催なども検討していく。 |
| | ③⑥ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | | | |
| | ③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | | | |
| | ③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している | 6 | | | |
| | ③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 5 | 1 | 夫婦間、親子間の連携に機能不全を呈したケースには、それ相応の対応をしてあげた方が良いと感じる。 | 保護者と話し合いの場を設けていく。 |
| ④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 1 | 4 | | 行事自体が開催できていないため、今後検討していく。 | |
| 非常時等の対応 | ④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 2 | 4 | マニュアルのようなものは部分的なあるが、訓練を経験したことはない。 | 緊急時を想定して、避難訓練以外の訓練を実施していく（怪我の対応・不審者対応など） |
| | ④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | | | |
| | ④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 5 | 1 | 個々の頭にブラックボックス化しているものは多い。どこを見れば誰でも理解できるかを明確にしておく必要はある。 | ・マニュアルが必要な場合には作成する。 ・必要に応じて、研修を実施する |
| | ④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 3 | 2 | ・個々の頭にブラックボックス化しているものは多い。どこを見れば誰でも理解できるかを明確にしておく必要はある。 | |
| | ④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | 1 | | |
| | ④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 3 | 2 | 現状、参加したことはなし。 | 年1回開催している。入職時期によっては、記録等で周知していく。 |
| | ④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 2 | 3 | 現状、そのような場面はなし。 | 虐待防止や権利擁護の研修等を踏まえて、見直していく。 |